

(様式1-2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名	雪寒対策道路(防災防雪)		路河川名等	(主)飯山妙高原線		
事業毎の通番	1	市町村名	信濃町	箇所名(ふりがな)	熊坂(くまさか)	
事業概要	事業目的	(主)飯山妙高原線は、飯山市を起点として、飯綱町信濃町を經由し、新潟県妙高市とを結ぶ幹線道路であるとともに、野尻湖や斑尾高原、タングラム斑尾等の主要観光地にアクセスする重要な観光道路でもある。当該区間は、新潟県との県境付近の特別豪雪地帯に位置しており、平均縦断勾配11%(最急勾配16%)と急であるとともに、谷地形による日陰部でカーブも急であるため、冬季には、積雪や凍結によるスリップ車両が多発し、安全な通行の確保が困難な状況となっている。そのため、急勾配箇所へのスノーシェルターの設置による防雪対策を行い、冬季の安全な交通の確保を図るものである。				
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置づけ	3-8 生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	豪雪地帯対策特別措置法 積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する特別措置法		
	関連する事業、計画等	第七次長野県総合雪対策計画 信濃町都市計画マスタープラン				
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量:293台/日				
	着手年度	2020年度(令和2年度)	事業期間	7年間		
	完成年度(見込み)	2026年度(令和8年度)	費用対効果	1.3		
	全体事業内容(主な工種)	スノーシェルター設置工 L=400m		事業費(千円)	800,000	480,000
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	・急勾配(6%以上)箇所へのスノーシェルター設置による冬季の交通安全性向上			
		間接的効果(定量的・定性的)	・観光地(斑尾高原、野尻湖)へのアクセス性向上による観光振興に寄与 ・地域間交流の促進			
	評価の視点	必要性	○計画交通量 : 293台/日 ○代替道路の有無 : 唯一の道路である(30分以上の迂回を伴う)			評価
重要性		○関連計画、重点施策との整合 : 信濃町都市計画マスタープラン、信濃町地域公共交通総合連携計画 信濃町まち・ひと・しごと創生総合戦略 ○緊急輸送道路の路線指定 : 指定なし ○地域指定 : 特別豪雪地帯に指定(第七次長野県総合雪対策計画)			評価	B
効率性		○事業期間 : 7年間			評価	C
緊急性		○近年の交通事故件数 : 毎年1~2件スリップ事故・渋滞発生(大型車、スキー客等) ○道路安全性の向上 : 交通事故や雪崩、落石等の危険箇所指定はないが安全性を向上させる ○人家の状況 : 古海地区 人家120軒点在 ○現況の勾配 : 平均縦断勾配11%			評価	B
計画熟度		○事業情報の共有 : 関係者以外にも周知(古海、菅川、野尻地区、斑尾高原から要望有) ○地域の取組み : 古海地区住民との現地調査の実施(毎年1回程度) ○地域の合意形成 : 合意形成が図られている ○事後・再評価からのフィードバック : 事後評価1-6 雪崩対策 地元調整			評価	A
所管課の意見		積雪や凍結によるスリップ車両が多発し、安全な通行の確保が困難な状況となっていることから、事業着手が妥当と判断する。			採択状況	○
建設部公共事業評価委員会の意見	所管課の意見が妥当と判断する。			総合評価	B	
県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—	評価の決定	事業着手	

【位置図、平面図、構造図等】

位置図

平面図

標準横断面図(参考)

【整備の必要性がわかる状況写真等】

事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(主)飯山妙高原線は、飯山市を起点として、飯綱町信濃町を經由し、新潟県妙高市とを結ぶ幹線道路であるとともに、野尻湖や斑尾高原、タングラム斑尾等の主要観光地にアクセスする重要な観光道路でもある。当該区間は、新潟県との県境付近の特別豪雪地帯に位置しており、平均縦断勾配11%(最急勾配16%)と急であるとともに、谷地形による日陰部でカーブも急であるため、冬季には、積雪や凍結によるスリップ車両が多発し、安全な通行の確保が困難な状況となっていることから、地元及び周辺地区から、冬季の通行の安全確保を目的とした道路改良を強く求められている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地元住民(古海地区)から要望があり、平成29年8月に地域住民による合同現地調査を実施。周辺地区(菅川、野尻地区及び斑尾高原)からも改良要望あり。
③事業説明等の経緯	古海地区住民との現地調査を毎年1回程度実施しており、本箇所の改良についての合意形成は図られている。詳細設計についての地元説明会は、事業化後に実施予定。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	信濃町都市計画マスタープラン、信濃町地域公共交通総合連携計画、信濃町まち・ひと・しごと創生総合戦略において、交通や観光のための重要路線として位置づけられている。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	並行する河川(古海川)や法面等の自然環境に配慮し、影響を最小限にするよう工法選定、設計を行う。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により、新潟県妙高市側(妙高原I.C、妙高原駅)と信濃町観光地(野尻湖、斑尾高原、タングラム斑尾)間の冬季の通行の安全性が向上するとともに、交通の円滑化が図られ、周辺観光地の活性化が期待される。
⑦その他	現道両側に東北電力発電施設があるため、施設への影響に配慮した設計・施工とする。

事後・再評価からのフィードバック

当地区は特別豪雪地帯であり、当該箇所においては、特に冬季の交通安全確保が求められており、防雪対策事業の必要性が住民や周辺観光地から認知されている。

事業代表地点の緯度経度

北緯:N 36° 51' 34"
東経:E 138° 12' 53"